

投資者の皆様へ

2018年12月25日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2018年12月25日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、モーニングスター・アセットマネジメント株式会社より投資助言を受け弊社が運用しております以下のファンドも影響を受け、基準価額が大きく下落いたしました。つきましては、株式市場の下落要因と今後の見通しについての当社の見方と共に、助言ファンドに関するモーニングスター・アセットマネジメントの投資方針等についてお知らせいたします。

1. 基準価額及び下落率(12月25日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド	10,767	▲691	▲6.0

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する要因及び今後の見通しは以下の通りです。

本日の国内株式市場は、前日の軟調な米株式市場の推移を受けて大きく下落し、日経平均株価は、前日比1,010円45銭安(同5.01%安)の19,155円74銭で取引を終了しました。

米国では、暫定予算が不成立となり一部の政府機関が22日の0時より閉鎖され、当該閉鎖が年明けまで続く可能性との報道により投資家心理が悪化しました。加えてムニューシン米財務長官の発言や同氏を巡る報道等により、米政治リスクの台頭によるリスク回避姿勢が強まり、株価は一段安となりました。

また外国為替市場において、米株式市場の急落や政治リスクの先行き不透明感等を背景にリスク回避の円買いが進み、前週末比で1円10銭程度円高となる1ドル＝110円10銭台の水準まで円高が進行しました。25日の国内株式市場では、米国政治の不透明感や円高推移による企業収益悪化懸念等が意識されました。寄り付き後から売りが優勢の展開となり、次第に下げ幅を拡大し当日の安値圏で取引を終了しました。

国内株式市場の大幅下落に伴い、弊社の運用する日本株関連ファンドの組入れ銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額は下落しました。

今後の株式市場については、世界景気の成長率鈍化が意識される中、米政権の政治先行き不透明感等が株価の上値を抑える要因となると考えられます。主に外部環境の影響により、神経質な展開が続くと予想されます。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

3. モーニングスター・アセットマネジメントの投資方針等

下記コメントは、本レポートに掲載のファンドについて助言を行っているモーニングスター・アセットマネジメント株式会社からのコメントです。

12月25日の日経平均株価は前営業日比1,000円超急落し、年初来安値を記録するなど、足元の国内株式市場はボラティリティー（価格変動性）が高まっています。

トランプ米大統領が不法入国者対策となるメキシコ国境の壁の建設費用をめぐり、米連邦政府の19会計年度（18年10月～19年9月）暫定予算の署名を拒否したことで、米政府機関は一部閉鎖に追い込まれました。加えて、米軍のシリア撤退をめぐりマティス米国防長官が退任を表明するなど、ここにきて米政治の先行き不透明感が強まり、米国株の急落が世界株式の混乱へと波及した格好です。投資家がリスク回避姿勢を強め外国為替市場で円高が進んだことも、国内株式市場の逆風となりました。こうした環境下、当ファンドの基準価額は前日比6.0%下落しました。

もともと、米国はホリデー・シーズン本番で市場参加者が限られ、株価の値動きが荒くなりやすい状況にあります。また、このところの米国株の軟調は、直近の米連邦公開市場委員会（FOMC）が市場の想定よりハト派色が薄かったことも一因とされていますが、19年の利上げペース自体はあくまで減速が見込まれています。米国の政治動向が予断を許さないのは確かですが、米国株、そして日本株の急変動は、マーケットの過剰反応との側面があると言えそうです。

当該ファンドは将来の高い成長が期待されるフィンテック、AI（人工知能）分野の日本やアジアの有望企業に厳選投資し、アジアの外国株式についても新興国経済動向をはじめ各種リスクをコントロールしながら投資を行っており、この運用方針を今後も厳格に遵守して参ります。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI日本・アジアフィナンテック株式ファンド

ファンドにかかるリスクについて

【基準価額の変動要因】

本ファンドは、株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因は以下の通りです。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

<主な変動要因>

価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドはその影響により株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

特定業種やテーマ銘柄へ投資が集中するリスク

本ファンドは、特定の業種・テーマに絞った株式への投資を行います。したがって、株式市場全体の値動きとファンドの基準価額の値動きが大きく異なる場合があります。また、幅広い業種の株式に分散投資するファンドに比べ基準価額の変動が大きくなる場合があります。これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク

外貨建資産へ投資する場合には、為替変動による影響を受けます。本ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

信用リスク

投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

株式を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、本ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることがあります。特に新興国市場への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があり、基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

デリバティブ(派生商品)に関する留意点

本ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ(派生商品)を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

※リスクは上記に限定されるものではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ファンドの費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24% (税抜: 3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率を乗じた額とします。詳細は販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	信託財産留保額はかかりません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年 1.76904% (税抜: 年 1.638%) を乗じて得た金額とします。運用管理費用 (信託報酬) の配分は下記の通りとします。なお、当該報酬は、毎計算期間の最初の 6 カ月終了日 (休業日の場合は翌営業日) 及び毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用及び 手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等 (有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等) が信託財産から差引かれます。なお、これらの費用は、監査費用を除き、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。
その他	※当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書 (交付目論見書) をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書 (目論見書) の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。